

警察常任委員会資料
令和5年1月16日

令和5年度当初予算要求概要

警 察 本 部

令和5年度重要施策体系表

警察本部

(単位:千円)

県民の安全を守る 力強い警察 ~ 県民とともに 県民のために~ ~強く・正しく・温かく (13,469,542)	暴力団の壊滅と組織犯罪 対策の推進 (307,713)	指定暴力団六代目山口組、指定暴力団神戸山口組及び 指定暴力団絆會対策の強化 薬物・銃器対策の強化 外国人総合対策の推進 情報の一元化と戦略的な取締りの推進	(207,927) (28,826) (19,241) (51,719)
	特殊詐欺対策を始めとする 地域の安全安心を守る犯罪 抑止対策の推進 (2,070,520)	特殊詐欺被害防止対策の推進及び検挙活動の強化 子供と女性を犯罪から守る活動の推進 効果的な犯罪防止に向けた取組の推進 地域住民が真に解決を望む事案への迅速・的確な対応 雑踏事故防止対策の推進	(52,866) (27,157) (41,865) (1,924,078) (24,554)
	重要凶悪事件の徹底検挙 とストーカー・DV、虐待事案 を始めとする人身安全関連 事案への的確な対応 (712,904)	重要凶悪事件等に対する検挙活動の強化 知能犯罪に対する検挙活動の強化 人身安全関連事案に迅速かつ的確に対処するための取組 の推進 県民生活を脅かす生活経済事犯対策及び良好な生活 環境を守るための対策の推進	(532,780) (99,473) (31,298) (49,353)
	テロ対策、大規模災害対策 等の推進 (36,917)	テロ対策、大規模災害対策等の推進	(36,917)
	サイバーセキュリティ対策 の推進 (104,045)	総合的なサイバー犯罪対策の推進 サイバー攻撃対策の推進	(75,794) (28,251)
	少年の非行防止と健全 育成に向けた総合対策 の推進 (92,696)	少年の非行防止と保護対策の強化 少年犯罪の検挙・補導活動の強化 子供の性被害防止対策の推進と有害環境浄化活動の強化	(69,234) (15,968) (7,494)
	安全・安心・快適な交通 社会の実現 (6,377,811)	交通事故情勢及び社会情勢を踏まえた効果的な交通事故防止 信頼される合理的な交通警察業務の推進 大規模行事等における的確な交通対策の実施 中長期的視野に立った取組の高度化 交通警察活動基盤の充実強化	(2,202,444) (1,730,289) (302,928) (2,010,442) (131,708)
	組織・活動基盤の整備 充実 (3,766,936)	県民の理解と協力の確保 現場活動を支える人的基盤の強化 風通しの良い職場環境づくりによる精強な組織の構築 警察施設等活動基盤の整備充実	(59,524) (684,348) (249,768) (2,773,296)

令和5年度重要施策

(単位：千円)

施策名	施策の目的と概要	所要経費 の要求額	財源内訳			
			国庫支出金	特定財源	起債	一般財源
暴力団の壊滅と組織犯罪対策の推進 (組対局)	<p>指定暴力団六代目山口組、神戸山口組及び絆會を壊滅するため、実態解明と資金源対策の更なる推進を図るとともに、取締りと暴力団排除活動を連動させた総合的な暴力団対策を継続実施するほか、暴力団や準暴力団等の犯罪組織が関与する薬物・銃器事犯、特殊詐欺事件の取締り及び外国人総合対策を強化するなど、組織犯罪対策を推進する。</p> <p>1 指定暴力団六代目山口組、指定暴力団神戸山口組及び指定暴力団絆會対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 組織、資金源等実態解明の徹底 ○ 暴力団等に対する戦略的な取締りの強化 ○ 暴力団排除活動の推進 ○ 暴力団対策法の的確かつ効果的な運用 <p>2 薬物・銃器対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 密輸・密売組織の取締りと実態解明の強化 ○ 広報啓発活動の推進 <p>3 外国人総合対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国際犯罪組織の実態解明と取締りの強化 ○ 犯罪インフラの解明・解体の推進 <p>4 情報の一元化と戦略的な取締りの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 犯罪収益対策等の推進 ○ 情報収集活動の組織的な実施と管理 	307,713	87,645	10,115	0	209,953

(単位：千円)

施策名	施策の目的と概要	所要経費 の要求額	財 源 内 訳			
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源
特殊詐欺 対策を始 めとする 地域の安 全安心を 守る犯罪 抑止対策 の推進 (組対局) (生安部) (地域部)	<p>特殊詐欺の予兆電話認知時における警戒を強化するとともに、高齢者宅等への戸別訪問活動を始め、自治体や高齢者関係団体等とも連携して、防犯機能付き電話機の普及促進や広報啓発活動を推進するほか、金融機関、コンビニエンスストア等と連携した水際対策を推進する。</p> <p>さらに、現場検挙活動を強化し、背後にいる暴力団等を視野に入れた多角的な取締りを行い、突き上げ捜査や犯行拠点の摘発による組織の実態解明等を推進するなど、特殊詐欺の予防・検挙の徹底を図る。</p> <p>また、的確に地域の犯罪情勢を分析し、その課題に応じた取組を推進するほか、地域住民等に対する防犯情報の提供や自主防犯活動の支援、犯罪防止に配慮した環境設計活動等により、効果的な犯罪防止に向けた取組を推進する。</p> <p>1 特殊詐欺被害防止対策の推進及び検挙活動の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 発生実態に応じた官民一体となった被害防止対策等の推進 ○ 相談・被害認知時における初動対応及び検挙対策の徹底 <p>2 子供と女性を犯罪から守る活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 子供と女性を性犯罪等の被害から守る対策の強化 <p>3 効果的な犯罪防止に向けた取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 的確な犯罪情勢分析 ○ 持続可能な自主防犯活動に向けた支援 ○ 地域住民等に対する防犯情報の提供 ○ 犯罪防止に配慮した環境設計活動の推進 <p>4 地域住民が真に解決を望む事案への迅速・的確な対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 迅速・的確な初動警察活動の推進 ○ 地域住民に安心感を与える地域警察活動の強化 ○ 地域住民に不安を与える身近な犯罪の抑止・検挙活動の強化 ○ 交番等の機能強化 <p>5 雑踏事故防止対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 適正な警備計画の策定と的確な現場指揮の徹底 	2,070,520	115,790	7,769	0	1,946,961

(単位：千円)

施策名	施策の目的と概要	所要経費 の要求額	財 源 内 訳			
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源
重要凶悪事件の徹底検挙とストーカー・DV、虐待事案を始めとする人身安全関連事案への的確な対応 (刑事部) (生安部)	<p>県民に大きな不安を与える重要凶悪事件等に対し、迅速・的確な初動捜査、DNA型鑑定を始めとする科学捜査等早期解決に向けた懸命な捜査を推進し、徹底検挙を図るとともに、事態が急展開して重要凶悪事件に発展するおそれのあるストーカー・DV、虐待事案等の人身安全関連事案に迅速・的確に対応する。</p> <p>1 重要凶悪事件等に対する検挙活動の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 迅速・的確な初動捜査による検挙活動の強化 ○ 未解決事件捜査の徹底 <p>2 知能犯罪に対する検挙活動の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 重要知能犯罪等に対する検挙活動の強化 ○ 告訴・告発取扱いの適正化 <p>3 人身安全関連事案に迅速かつ的確に対処するための取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 恋愛感情等のもつれに起因する暴力的事案に対する適切な対応 ○ 適切な行方不明者発見活動の推進 ○ 児童・高齢者・障害者虐待事案に対する適切な対応 <p>4 県民生活を脅かす生活経済事犯対策及び良好な生活環境を守るための対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 悪質生活経済事犯の取締りと被害の未然防止対策の強化 ○ 風俗環境浄化に向けた関係事犯への的確な対応 ○ 人身取引事犯への的確な対応 ○ 銃砲刀剣類等の適正管理と危険物対策の推進 ○ 厳正にして合理的な許可等事務の管理及び運用の推進 	712,904	268,404	2,174	0	442,326
テロ対策、大規模災害対策等の推進 (警備部)	<p>テロ等の重大事件を未然に防止し、また、大規模自然災害・事故災害等へ迅速かつ的確に対応して県民の安全を守るため、各部隊の対処能力を向上させるとともに、関係機関等との連携を強化するなど、テロ対策、大規模災害対策等を推進する。</p> <p>1 テロ対策、大規模災害対策等の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ テロ等重大事案の未然防止対策の推進 ○ 大規模自然災害・事故災害等への迅速かつ的確な対応 ○ 各部隊の対処能力の向上 ○ 関係機関等との連携強化による諸対策の推進 	36,917	4,452	0	0	32,465

(単位：千円)

施策名	施策の目的と概要	所要経費 の要求額	財 源 内 訳			
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源
サイバーセキュリティ対策の推進 (生安部) (警備部) (CSIS)	<p>複雑・巧妙化しているサイバー犯罪や世界的規模で頻発するサイバー攻撃等、深刻化するサイバー空間の脅威への対処能力の向上を図るとともに、関係機関・団体等との情報共有など、総合的なサイバーセキュリティ対策を推進する。</p> <p>1 総合的なサイバー犯罪対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ サイバー犯罪の取締りの強化 ○ サイバー犯罪被害防止対策の推進 <p>2 サイバー攻撃対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ サイバー攻撃事案における対処能力の強化 ○ サイバー攻撃による被害を未然に防止するための官民連携の推進 ○ サイバー攻撃事案発生時の的確な対処と実態解明の推進 	104,045	22,494	0	0	81,551
少年の非行防止と健全育成に向けた総合対策の推進 (生安部)	<p>少年の健全な育成を図るため、非行少年等の検挙・補導活動を徹底するとともに、児童ポルノ事犯を始めとする子供の性被害防止対策並びに関係機関・団体等地域社会と連携した非行防止教育及び立ち直り支援活動を推進し、少年の規範意識の向上を図るほか、児童虐待・いじめ問題に迅速・的確に対応するなど、総合的な少年対策を推進する。</p> <p>1 少年の非行防止と保護対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 非行防止教育及び非行少年等に対する効果的な立ち直り支援活動の推進 ○ 不良行為少年の早期発見・早期措置 ○ 少年警察ボランティアの活性化 ○ 児童虐待・いじめ事案の早期把握と的確な対応 ○ 少年の大麻等薬物乱用防止対策の推進 ○ 少年を特殊詐欺に加担させないための取組の推進 <p>2 少年犯罪の検挙・補導活動の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 集団的不良交友関係の実態把握及び解消に向けた検挙・補導活動の推進 ○ 少年の特性に配慮した適正捜査・調査の推進 <p>3 子供の性被害防止対策の推進と有害環境浄化活動の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 悪質性の高い福祉犯の取締りの強化 ○ 少年の不良行為を助長する事犯に対する指導取締りの強化 ○ SNS等に起因する子供の犯罪被害防止のための広報啓発活動の推進 ○ 関係機関と連携した少年を取り巻く有害環境浄化活動の推進 ○ フィルタリングの活用等ペアレンタルコントロールの普及啓発及びインターネットの安全利用に向けた情報モラル教育の推進 	92,696	10,945	3,180	0	78,571

(単位：千円)

施策名	施策の目的と概要	所要経費 の要求額	財 源 内 訳			
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源
安全・安心・快適な交通社会の実現 (交通部)	<p>安全・安心・快適な交通社会を実現するため、交通実態の的確な把握・分析に基づく、高齢者の交通事故防止対策、自転車総合対策、対象者に応じた交通安全教育、悪質・危険運転者対策、合理的な交通規制と交通安全施設の重点的な整備等を行い、交通事故の徹底した防止に取り組むとともに、関係機関・団体・地域住民への情報提供等を積極的に行い、県民と協働した総合的な交通対策を推進する。</p> <p>1 交通事故情勢及び社会情勢を踏まえた効果的な交通事故防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 信号機のない横断歩道における交通事故防止対策の推進 ○ 高齢者の交通事故防止対策の推進 ○ 歩行者・自転車に対する交通ルールを浸透させる取組の推進 ○ 自動車運転者に対する交通事故防止対策の推進 ○ 交通事故多発交差点等における安全対策の推進 ○ 交通事故抑止に資する交通指導取締りの推進 ○ 改正道路交通法等の適正な運用 ○ 市町等関係機関・団体等の主体的な交通安全対策の推進 ○ 高速道路における安全対策の推進 <p>2 信頼される合理的な交通警察業務の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 適正かつ緻密な交通事故事件捜査及び組織的な被害者支援の推進 ○ 総合的な暴走族等対策の推進 ○ 交通実態の変化等に即した交通規制の見直し等の推進 ○ 適正な許可等事務の推進 ○ 的確な運転者施策の推進 <p>3 大規模行事等における的確な交通対策の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大規模災害に備えた交通対策の推進 ○ 大規模行事の開催に向けた交通対策の推進 <p>4 中長期的視野に立った取組の高度化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 交通事故分析の高度化 ○ 交通安全施設等の総数管理及び適正な管理の推進 ○ 交通関係情報の積極的な収集及び交通管理への的確な反映 ○ 運転者管理システムの共通基盤システムへの移行 <p>5 交通警察活動基盤の充実強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 交通警察を担う人材の確保・育成 ○ 業務負担の軽減及び士気高揚方策の推進 ○ 受傷事故防止の徹底 	6,377,811	586,981	3,419,381	1,343,000	1,028,449

(単位：千円)

施策名	施策の目的と概要	所要経費 の要求額	財 源 内 訳			
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源
組織・活動 基盤の整備 充実 (総務部) (警務部)	<p>県民の声を真摯に受け止め適切に対応し、また、積極的な情報発信に努め、さらには説明責任を果たすことで理解と協力の確保を図るとともに、社会の変化と新たな治安情勢への的確な対応に向けた警察組織の人的、物的基盤の整備充実を図る。</p> <p>1 県民の理解と協力の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 広聴活動の適切な推進 ○ 広報活動の積極的な推進 ○ 情報公開及び個人情報保護への適切な対応 ○ 警察捜査に対する県民の信頼確保 ○ 被害者の立場に立ったきめ細かな支援活動の推進 <p>2 現場活動を支える人的基盤の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 優秀・有用な人材の確保と育成 ○ 適正な人事管理等による組織機能の強化 ○ 現場執行力の強化につながる教養・訓練の推進 <p>3 風通しの良い職場環境づくりによる精強な組織の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 組織の活性化を図る施策の推進 ○ 職員の健康の維持増進のための諸対策の推進 <p>4 警察施設等活動基盤の整備充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 施設の計画的な整備と適正な管理 ○ 装備資機材の有効活用と適正管理 ○ 警察情報システム等の有効活用 ○ 堅牢な情報セキュリティ対策の推進 ○ 情勢の変化に的確に対応する警察情報システム等の実現 	3,766,936	619,000	2,000	500	3,145,436

令和5年度予算要求一覧表

(一般会計)

(単位：千円)

課名	令和4年度 現計予算額	令和5年度 予算要求額	財源内訳				備考
			国庫支出金	特定財源	起債	一般財源	
総務課	31,880	35,427	142	0	0	35,285	
県民広報課	13,429	13,390	240	0	0	13,150	
会計課	2,965,971	2,690,203	102,243	250,577	500	2,336,883	
装備課	1,743,442	1,759,090	497,662	0	0	1,261,428	
情報管理課	751,047	780,324	77,405	0	0	702,919	
留置管理課	291,699	292,937	29,322	229,036	0	34,579	
警務課	2,946,863	2,951,386	90,198	2,000	0	2,859,188	
教養課	73,689	63,724	27,703	0	0	36,021	
厚生課	132,145	132,997	2,290	0	0	130,707	
監察官室	17,707	17,707	0	0	0	17,707	
刑事企画課	388,818	400,684	163,879	0	0	236,805	
捜査第一課	128,100	134,021	65,149	0	0	68,872	
捜査第二課	22,475	19,195	8,860	0	0	10,335	
捜査第三課	24,076	21,950	7,949	0	0	14,001	
鑑識課 科学捜査研究所	181,269	183,277	18,487	0	0	164,790	
機動捜査隊	16,400	14,186	7,093	0	0	7,093	
組織犯罪対策課	49,095	49,095	22,362	0	0	26,733	
暴力団対策課	127,438	126,211	47,808	5,000	0	73,403	
薬物銃器対策課	15,477	15,477	7,701	0	0	7,776	
国際捜査課	14,978	14,978	6,172	0	0	8,806	
特殊詐欺 特別捜査隊	0	13,838	4,840	0	0	8,998	

(一般会計)

(単位：千円)

課 名	令和4年度 現計予算額	令和5年度 予算要求額	財 源 内 訳				備 考
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
生活安全企画課	20,304	18,804	7,402	1,000	0	10,402	
人身安全対策課	22,111	23,563	10,001	0	0	13,562	
生活経済課	8,711	7,353	3,676	0	0	3,677	
保 安 課	26,270	25,312	3,958	17,076	0	4,278	
少 年 課	80,404	83,262	8,638	162	0	74,462	
サイバー犯罪 対 策 課	16,511	16,530	3,149	0	0	13,381	
生 活 安 全 特 別 捜 査 隊	10,049	10,049	4,146	0	0	5,903	
地 域 企 画 課	1,387,988	1,392,633	8,078	0	0	1,384,555	
通 信 指 令 課	523,913	527,876	76,431	0	0	451,445	
第一機動パトロール隊 第二機動パトロール隊	1,800	1,800	900	0	0	900	
鉄 道 警 察 隊	450	450	225	0	0	225	
交 通 企 画 課	23,188	45,104	11,845	6,825	0	26,434	
交 通 規 制 課	4,695,777	4,569,106	517,145	645,899	1,343,000	2,063,062	
交 通 指 導 課	844,747	803,910	44,436	588,833	0	170,641	
交 通 捜 査 課	41,217	41,217	10,410	0	0	30,807	
運 転 免 許 課 運 転 免 許 試 験 場	2,840,254	2,235,310	0	2,235,310	0	0	
交 通 機 動 隊	6,227	6,227	2,327	0	0	3,900	
高 速 道 路 交 通 警 察 隊	2,601	2,601	941	0	0	1,660	
警 備 課	92,381	20,396	0	0	0	20,396	
災 害 対 策 課	28,362	28,368	713	0	0	27,655	
C S I S	55,238	55,242	17,601	0	0	37,641	
総 計	20,664,501	19,645,210	1,919,527	3,981,718	1,343,500	12,400,465	

令和5年度予算要求額の概要（主要事項）

（一般会計）

（単位：千円）

事 項 名	令和4年度 当初予算額	令和5年度 予算要求額	財 源 内 訳				概 要 説 明 (全体計画を含む)
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
(会 計 課) 警 察 施 設 整 備 費	651,456	398,259	0	3,600	500	394,159	庁舎等整備費 398,259
(装 備 課) 警 察 装 備 費	1,317,607	1,333,255	497,662	0	0	835,593	車両整備充実費 2,017 車両等維持費 1,216,195 車両購入費 58,262 個人整備費 56,781
(装 備 課) 被 服 調 製 費	425,835	425,835	0	0	0	425,835	警察職員被服費 425,835
(警 務 課) 人 事 管 理 費	648,031	666,788	11,558	0	0	655,230	定例表彰費 6,307 警察職員採用経費及び赴任旅費等 151,228 会計年度任用等職員費 509,253
(情 報 管 理 課) 警 察 情 報 活 用 体 制 充 実 整 備 費	864,187	891,299	77,405	0	0	813,894	情報通信基盤整備強化費 891,299
(総 務 課) 警 察 改 革 推 進 費	10,077	13,487	0	0	0	13,487	警察署協議会運営費 13,487

(一般会計)

(単位：千円)

事 項 名	令和4年度	令和5年度	財 源 内 訳				概 要 説 明 (全体計画を含む)
	当初予算額	予算要求額	国庫支出金	特定財源	起債	一般財源	
(教養課) 警察教養費	69,530	60,951	27,703	0	0	33,248	警察学校入校研修費等 60,951
(留置管理課) 留置施設 管理費	291,699	292,937	29,322	229,036	0	34,579	留置施設管理費 292,937
(県民広報課) 警察広報費	13,429	13,390	240	0	0	13,150	警察広報費 13,390
(厚生課) 厚生管理費	132,145	132,997	2,290	0	0	130,707	定期健康診断等各種健診費 123,829 産業医制度実施費 9,168
(組織犯罪対策課) 組織犯罪 対策費	180,093	188,187	80,082	5,000	0	103,105	暴力団対策費 174,945 薬物銃器犯罪対策費 4,919 国際犯罪対策費 8,323
(刑事企画課) 刑事警察 活動費	834,686	851,097	312,951	2,000	0	536,146	重要凶悪犯罪対策費 551,775 知能犯罪対策費 29,401 窃盗犯罪対策費 43,334 ⑨ 特殊詐欺情報提供制度実施費 3,000 ⑨ AI画像解析システム整備費 2,842 犯罪鑑識警察活動費 180,811 科学捜査警察活動費 14,344 被害者支援活動費 25,590

(一般会計)

(単位：千円)

事 項 名	令和4年度 当初予算額	令和5年度 予算要求額	財 源 内 訳				概 要 説 明 (全体計画を含む)
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
(生活安全企画課) 生活安全 警察活動費	178,352	179,210	32,156	18,238	0	128,816	防犯・保安警察活動費 25,848 ⑧通報機能付GPS端末整備費 1,452 警備業者法定講習実施費 6,968 風俗営業等管理対策費 5,354 猟銃等管理対策費 5,435 サイバー犯罪対策費 57,068 ⑧AIサイバーパトロール実施費 2,904 少年警察活動費 74,181
(地域企画課) 地 域 警 察 活 動 費	1,997,185	1,922,759	85,634	0	0	1,837,125	地域警察活動費 279,682 交番相談員制度実施費 1,110,300 地域ふれあいの会運営費 3,600 水上安全対策費 1,301 通信指令システム維持費 522,561 ⑧高度警察情報通信基盤システム強化費 5,315
(災害対策課) 災 害 対 策 費	46,809	46,809	713	0	0	46,096	災害対策費 3,213 総合的画像情報伝送システム維持費 23,200 総合指揮室維持費 20,396

事 項 名	令和4年度 当初予算額	令和5年度 予算要求額	財 源 内 訳				概 要 説 明 (全体計画を含む)
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
(交通企画課) 交 通 安 全 対 策 費	556,027	555,657	14,205	510,441	0	31,011	交通事故統計・安全広報費 44,468 交通事故抑止特別対策費 754 自動車保管場所対策費 510,435
(交通規制課) 交 通 規 制 推 進 費	135,978	135,464	0	135,464	0	0	パーキング・メーター等整備運用費 85,359 道路使用許可調査委託費 50,105
(交通指導課) 交 通 指 導 取 締 費	865,470	848,828	55,754	588,827	0	204,247	交通指導取締費 114,135 暴走族取締対策費 1,755 交通取締機材整備費 87,242 交通反則通告制度実施費 57,079 違法駐車対策費 587,946 違法駐車移動保管対策費 671
(交通規制課) 交 通 安 全 施 設 等 整 備 費	2,224,808	2,220,943	517,145	0	983,000	720,798	交通管制センター整備費 701,653 交通安全施設整備費 1,519,290
(交通規制課) 公 共 施 設 等 適 正 管 理 推 進 事 業 費	500,000	400,000	0	0	360,000	40,000	交通安全施設老築化対策事業費 400,000
(運転免許課) 自 動 車 運 転 免 許 試 験 業 務 推 進 費	2,840,254	2,235,310	0	2,235,310	0	0	自動車運転免許試験実施費 1,454,187 法定講習実施費 781,123

和解及び損害賠償の額を定めることの委任専決処分について（その1）

1 委任専決事項

警察職員による交通事故の損害賠償について和解し、その額を定めること。

2 委任専決年月日

令和4年12月21日（水）

3 損害賠償額

1,670,928円（うち県費による支払額は931,678円）

4 交通事故の概要

(1) 発生日時

令和2年9月10日（木）午前9時20分ころ

(2) 発生場所

兵庫県西宮市鳴尾町3丁目1番23号先路上

(3) 事故当事者（年齢等は当時のもの）

ア 警察側

巡査 23歳 男性

イ 相手方

介護士 53歳 女性

(4) 発生状況

警察官が交番単車を運転して西宮市内の国道第一車線を東進中、進路左側にある交番駐車場に入場するため左折しようとした際、左後方の安全確認を怠って進行したため、左後方を走行していた相手方車両（第一種原動機付自転車）の進路を塞ぎ、同車を驚愕転倒させたもの。

和解及び損害賠償の額を定めることの委任専決処分について（その2）

1 委任専決事項

交通事故の損害賠償について和解し、その額を定めること。

2 委任専決年月日

令和4年12月21日（水）

3 損害賠償額

2,203,542円

4 交通事故の概要

(1) 発生日時

令和3年1月9日（土）午後7時7分ころ

(2) 発生場所

神戸市兵庫区西柳原町8番18号先路上

(3) 事故当事者（年齢等は当時のもの）

ア 第一当事者（警察官）

警部 48歳 男性

イ 第二当事者（共同不法行為者）

アルバイト 65歳 男性

ウ 第三当事者（相手方）

自営業 57歳 男性

(4) 発生状況

神戸市兵庫区内に所在する寺社の祭礼に伴って、警察官は警察署交通課長として、また、共同不法行為者である第二当事者は警備員として、周辺道路における交通規制等の業務に従事したものであるが、同規制の解除にあたり、第二当事者が規制標識の土台を撤去することなく道路中央に放置し、かつ、警察官が交通の妨げとなる工作物の撤去を確認することなく規制場所の安全確認不十分のまま同規制を解除したため、普通自動二輪車に乗車して同所を通行した相手方が当該土台に衝突し、転倒したものの。

テロ対策、大規模災害対策等の推進について



警 察 本 部

目 次

第1 テロ対策の推進

1	テロ情勢	5
2	我が国に対する国際テロの脅威	5
3	基本方針	6
4	各種対策	
(1)	情報収集と捜査	6
(2)	警戒警備の強化	6
(3)	水際対策	6
(4)	小型無人機対策	7
(5)	事案対処能力の強化	7
(6)	官民連携	8
(7)	情報発信	11

第2 大規模災害対策等の推進

1	大規模災害発生時における警察の任務	12
2	大規模災害の教訓を踏まえた警察の対応	
(1)	広域緊急援助隊の設置	12
(2)	警察災害派遣隊の設置	12
3	兵庫県警察の主な災害警備	
(1)	災害警備実施回数	13
(2)	近年の主な災害警備	13
4	災害警備諸対策の推進	
(1)	初動体制の早期確立	14
(2)	災害対処能力の向上	15
(3)	装備資機材の整備等	16
5	民間との連携・協力体制の構築	17
6	伝承教養	17
7	情報発信	17

第1 テロ対策の推進

1 テロ情勢

令和4年7月、安倍元総理への銃撃事件が発生した。また、同年中、右翼や極左暴力集団による「テロ、ゲリラ」事件の発生はなかったが、右翼は時局問題等を捉えた街頭宣伝活動等を行っており、今後も内外の諸問題に敏感に反応し、政府や関係諸国等に対する抗議活動を執ように行うものとみられ、その過程で違法行為の発生が懸念される。一方、極左暴力集団についても、その時々闘争課題に関するデモ等に取り組んでおり、今後も情勢次第では、「テロ、ゲリラ」事件を引き起こすおそれがある。

さらに、最近の国際テロ情勢については、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大している状況においても、I S I Lやアル・カーイダ等の過激思想に影響を受けた者によるテロ事件が世界各地で発生していることに加え、イラク及びシリアにおける外国人戦闘員やその家族の多くが同地を離れ、帰国又は移動により、同人らが母国又は第三国でテロを行う危険性が指摘されるなど、依然として厳しい状況にある。

I S I Lは、テロを実行する際、爆発物や銃器が入手できない場合には、刃物や車両等を用いてテロを敢行するよう呼び掛けており、今後もこれらに呼応したテロの発生が懸念される。

2 我が国に対する国際テロの脅威

2016（平成28）年7月に発生したバングラデシュ・ダッカにおける襲撃テロ事件、2019（平成31）年4月に発生したスリランカにおける連続爆弾テロ事件等、世界各地において、邦人や我が国の権益がテロの標的となる事案が現実には発生しているほか、I S I L等の過激派組織は、その声明等において、我が国や邦人をテロの標的として繰り返し名指ししており、我が国に対するテロの脅威は予断を許さない状況にある。

近年、海外において邦人が被害に遭った主なテロ事件等（2013年以降）



3 基本方針

厳しいテロ情勢の中、2023（令和5）年、我が国において「G7広島サミット及び関係閣僚会合」が開催される予定である。また、2025（令和7）年には大阪府において「2025年日本国際博覧会」（大阪・関西万博）、さらに2027（令和9）年には延期されている「ワールドマスターズゲームズ2021関西」等の大規模イベントが開催される予定である。

このような大規模なイベントは、世界的に大きな注目を集め、国内外の要人の来訪も見込まれるほか、テロの格好の標的ともなり得るため、県警察ではテロの未然防止に向けて、警護措置の強化、官民連携、水際対策、警戒警備等のテロ対策を強力に推進している。

4 各種対策

(1) 情報収集と捜査

テロの未然防止を図るためには、幅広い情報を収集して的確に分析することが不可欠である。テロは極めて秘匿性の高い行為であり、関連情報のほとんどは断片的なものであることから、情報の蓄積と総合的な分析が求められる。

県警察では、情報の収集・分析を行い、その結果を警戒警備等諸対策に活用するとともに、不審点があれば真相を解明するための諸活動を徹底している。

(2) 警戒警備の強化

繁華街・ショッピングセンター等の「ソフトターゲット」や駅、空港等の公共交通機関、外国公館等の重要施設において、制服警察官によるパトロールや、部隊を配置した警戒警備を強化し、テロの未然防止を図っている。

また、状況に応じて、会場等に至る経路に警察車両やイベント主催者の車両、資機材を配置するなどして、車両による突入の防止を図っている。

特に、政府要人等の警護を実施する際には、警護員の配置に加えて制服警察官の増強配置等、対象者の身の安全に万全を期している。



【警察車両を配置したテロ防止対策】
（第10回神戸マラソン）

(3) 水際対策

県下の5つの国際港湾（神戸港、尼崎西宮芦屋港、東播磨港、姫路港、相生港）において、海上保安庁、出入国在留管理庁、税関等と連携し、テロ対策合同訓練や入港する船舶に対する警戒等を実施している。

また、神戸空港の国際化を見据えて、関係機関と連携を密にしつつ、国際港湾と同様の対策を講じるなどして、水際対策を的確に推進していくこととしている。



【神戸港におけるテロ対策合同訓練】

(4) 小型無人機対策

警察では、「重要施設の周辺地域上空における小型無人機等の飛行の禁止に関する法律」等を適切に運用するなど、小型無人機、いわゆる「ドローン等」を使用したテロ等の未然防止に努めている。

具体的には、重要施設等の周辺において上空の警戒を実施することにより不審な小型無人機の飛行や操縦者の発見に努めたり、違法行為を企図した操縦者が利用するおそれのあるビルの屋上や敷地等の管理者に対して、出入口の施錠の徹底を働き掛けるなどの対策を進めている。

また、資機材を有効に活用するなどして、飛行している小型無人機の早期発見に努めるほか、違法に飛行している小型無人機を発見した場合には、危害発生を防止することとしている。



【警戒員による高所警戒】

(5) 事案対処能力の強化

ア 銃器対策部隊

銃器を使用した事案対応のために、警備部機動隊に銃器対策部隊を設置している。同部隊には、サブマシンガン、ライフル銃、防弾衣等が配備されており、銃器等を使用した事案への対処を主たる任務としている。



【関係機関等との合同訓練（銃器対策）】

イ 爆発物対応専門部隊

爆発物を使用した事案対応のために、警備部機動隊に爆発物対応専門部隊を設置している。同部隊には、X線透視装置、爆発物収納筒、防護服、防爆盾等が配備されており、迅速かつ的確に爆発物の現場処理に当たり、爆発物による被害の発生を防止することを任務としている。



【関係機関等との合同訓練（爆発物処理）】

ウ NBCテロ対策部隊

核物質や化学物質、生物剤を使用したNBCテロ対応のために、警備部機動隊にNBCテロ対策部隊を設置している。同部隊は、原因物質の検知、除去、被害者の救出救助、避難誘導等に当たることを任務としている。



【NBCテロ対応訓練】

(6) 官民連携

ア テロ対策兵庫パートナーシップ推進会議の活用

(7) 設立目的等

平成29年4月、ラグビーワールドカップ2019、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等の開催を見据え、官民一体のテロ対策を推進するために設立した。

(4) 活動状況

参画機関・団体に対して、「テロ対策兵庫パートナーシップ通信」を发出しているほか、有識者や警察本部員による講演を行い、自主警備の強化に活用できる情報を提供し、テロ対策の強化や対応力の向上を促している。

令和4年9月7日、明石市内において、イベント会場での不審物件の発見及びイベントに出席した要人に対する不審者の接近事案を想定し、関係機関と合同で対処訓練を実施した。



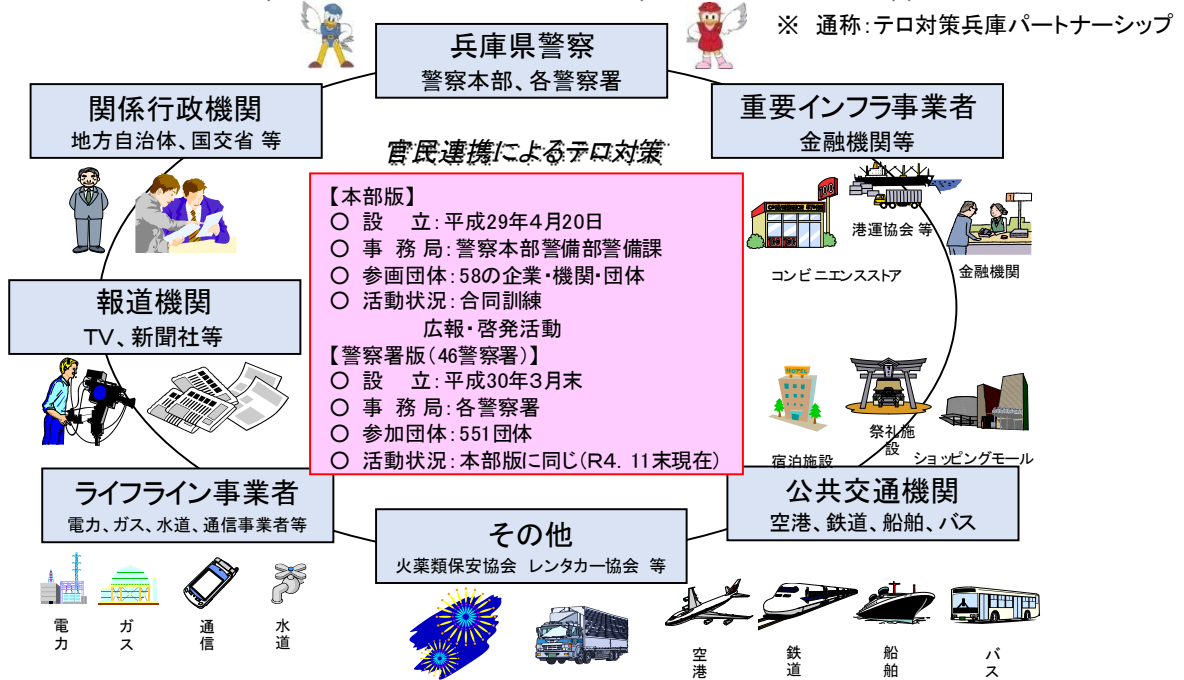
【関係機関との合同訓練】

テロ対策兵庫パートナーシップ通信		令和4年9月30日
【NO. 45】		兵庫県警察本部
【総合警備訓練の実施】		
○ 9月7日(水)、県立明石公園において、総合警備訓練を行いました。		
○ 訓練は、イベント会場での不審物件発見及び、イベントに出席した要人に対し、聴衆に紛れていた不審者が銃器様のものを取り出し、要人への接近を企図するとの想定において		
・ 不審物発見時の避難誘導及び規制線の設置		
・ 爆発物対応専門部隊による不審(爆発物容疑)物件への対処		
・ 要人の防護・退避、警護員による犯人の制圧検挙等を行い、対応手順や連携要領などを確認しました。		
		爆発物対応専門部隊による不審(爆発物容疑)物件への対処
		警護員による犯人の制圧
訓練終了式		
○ 本年11月、明石市で開催予定の「第41回全国豊かな海づくり大会兵庫大会」をはじめ、今後県内で大規模警備等が予定されており、警察では各種対策を推進してまいります。		
○ 今後も引き続き警察活動に対するご理解・ご協力をお願いいたします。		
テロを許さない社会の実現/官民連携のテロ対応 作成：兵庫県警察本部警備部警備課		

(ウ) 警察署版テロ対策兵庫パートナーシップ推進会議

兵庫県下46警察署において、「警察署版テロ対策兵庫パートナーシップ推進会議」を設置しており、県下において官民一体のテロ対策が斉一に行われる体制を構築している。各警察署において、警察署版テロ対策兵庫パートナーシップ推進会議を活用してテロ対策訓練等を実施し、県下各地域におけるテロ対処能力の向上を図っている。

テロ対策兵庫パートナーシップ推進会議※の構成



イ 爆発物の原料となり得る化学物質の販売事業者等との連携

薬局等の販売事業者等への個別訪問を継続的に行い、販売時における本人確認の徹底、盗難防止等の保管管理の強化、不審情報の通報等を要請しているほか、実際に接客に当たる従業員に対し、不審購入者の来店や電話による問合せがあった場合を想定したロールプレイング型訓練を行うなど協力体制を構築している。



【ホームセンターにおけるロールプレイング型訓練】

〔兵庫県爆発物原料取扱事業者等連絡協議会〕

○ 設立目的等

平成22年2月、警察と爆発物の原料となり得る化学物質の販売事業者や関係行政機関等との連絡体制を確保し、爆発物を使用したテロ事案等を未然に防止するとともに、同種事案が発生した場合の被害拡大防止及び迅速・的確な事件捜査の実現に資することを目的に設立した。

○ 活動状況

テロ情勢等を紹介した「協議会ニュース」を不定期に発行しているほか、毎年、総会を開催している。令和2年2月に開催した総会では、科学捜査研究所員による爆発物に関連した講演や、タレントがコント形式で不審者対応要領を実演するなど、事業者等への啓発、情報共有及び連携強化を図った。

なお、昨年及び一昨年の総会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を踏まえ、集合形式の開催を控え、文書資料により、事業者等との情報共有及び連携強化を図った。

【参画機関、団体、事業者（計60機関・団体）】

関 係 機 関	対 象
行 政 機 関	兵庫県、保健所等
教 育 機 関	大学等
医 療 関 係 団 体	薬剤師会、薬品小売商業組合等
農 業 関 係 団 体	J A、肥料商連合会等
薬局・薬品等原料小売店	ホームセンター、スーパー等

ウ 幅広い事業者との連携

旅館、インターネットカフェ、レンタカー、賃貸マンション、住宅宿泊事業等の事業を営む各事業者への個別訪問を継続的に行い、利用者に対する本人確認の徹底や不審情報の通報等を要請するなど、協力体制の確保に努めている。



【レンタカー事業者講習会における講演】

身分確認等の徹底

- 利用目的、行き先、運転免許証
- 利用者が外国人であれば、身分証明書（旅券、在留カード等）

少しでも
「おかしい」「不審だな」と感じた時は、
最寄りの警察へ通報をお願いします。

こんな利用客に注意

- 身分証の提示を拒む。
- 本人と身分証の顔写真が異なる。
- 挙動不審な行動、落ち着きがない。
- 利用目的や行き先がはっきりしない。
- 特定の車種や大きさ、窓ガラスのフィルムの有無に極端にこだわる。
- 車両返却時に異臭や不審物等がある。

兵庫県警察の国際テロ対策の取り組みは、こちら→

兵庫県警察本部外事課
Hyogo Prefecture Police

海外で
レンタカーを利用した
テロが発生しています

【レンタカー事業者向けのチラシ】

エ 外国人コミュニティとの連携強化

テロリストが国内の外国人コミュニティを悪用し、または国内に居住する外国人が生活上の困難や日本社会からの孤立等に直面してテロや犯罪に関与することを防止するため、市町等と協力し、防犯講習、交通安全講習、外国人運転者対策等の警察活動を通じて外国人コミュニティとの連携強化を図っている。



【外国人実習生に対する護身術講習】



【外国人留学生に対する交通安全講習】

Call 110 in an Emergency

You can call 110 and talk to police officers in English. Since they talk to you through an interpreter, please answer their questions slowly and clearly.

1) Q: Is it an incident or an accident?
A: A robbery, a traffic accident, a fight, etc.

2) Q: Can you describe the suspect?
A: Their sex, number, facial features, clothes, escape measures and directions.

3) Q: Where did it happen?
A: The address, landmarks, intersections, distance, etc.

4) Q: What is the present situation?
A: Details of the accident/incident, damages, injured or not, etc.

5) Q: When did it happen?
A: The approximate time, such as "five minutes ago".

6) Q: Can you tell me about yourself?
A: Your address, name and phone number.

While officers are questioning you, others are commanding the police station or patrol cars by radio to handle the case. Please answer their questions calmly and slowly.

Hyogo Prefectural Police

【外国人コミュニティ・管理者用のチラシ】

(7) 情報発信

ホームページやツイッター等のSNSを活用し、各種訓練等施策の取組状況について紹介するとともに、不審情報の通報について広く協力を呼び掛けている。

兵庫県警察ツイッター @Hyogo_Police 6月30日

【姫路港テロ対策合同訓練 外事課】6/21、姫路港の水際危機管理を担う関係機関が合同で、外航クルーズ船の上陸審査時にテロリストが発見されたとの想定でテロ対策訓練を行い、テロ対処能力の向上を図りました。
[police.pref.hyogo.lg.jp/seikatu/terro/...](https://www.police.pref.hyogo.lg.jp/seikatu/terro/)
 #姫路港 #テロ訓練 #兵庫県警察 #機動隊

【県警SNSのテロ対策に関する投稿】

あなたの通報がテロを防ぐ!!

- ✓ 見慣れない物が置き去りにされている。
- ✓ 見かけない車が長時間停まっている。
- ✓ 見かけない人が、地図を見ながら写真やビデオを撮影したり、何度も行ったり来たりしている。

「おかしいな」「不審だな」と感じた時は、
最寄りの警察へ通報
 をお願いします。

兵庫県警察の国際テロ対策の取り組みは、こちら→

兵庫県警察本部外事課
Hyogo Prefectural Police

【不審情報の通報を呼び掛けるチラシ】

第2 大規模災害対策等の推進

1 大規模災害発生時における警察の任務

警察は、大規模災害が発生した場合、災害警備体制を確立し、情報の収集・分析、避難誘導、救出救助活動、緊急交通路の確保、検視、行方不明者の捜索及び治安の維持に当たること等を任務としている。

2 大規模災害の教訓を踏まえた警察の対応

(1) 広域緊急援助隊の設置

阪神・淡路大震災を教訓に大規模災害時に都道府県の枠を越えて広域的に即応でき、かつ、高度な救出救助能力と自活能力を有する災害対策の専門部隊として、平成7年6月、全国の機動隊員、交通機動隊員等からなる「広域緊急援助隊」が設置された。

さらに、平成17年4月広域緊急援助隊に極めて高度な救出救助能力を有する「特別救助班（略称：P-R E X（Police Team of Rescue Expert s）」が、12都道府県警察に設置された。

（令和4年10月末現在：16都道府県に設置）



【兵庫県警察広域緊急援助隊発隊式】

(2) 警察災害派遣隊の設置

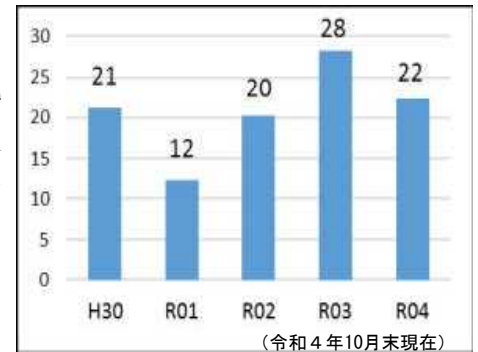
東日本大震災に際し、津波や原子力災害等への対応のため、長期間にわたり大規模な部隊派遣を行った経験から、災害発生時に直ちに被災地へ派遣する部隊として、広域緊急援助隊を中心とする即応部隊を全国約6,400人体制から約1万人体制に増強するとともに、発災から一定期間（概ね2週間）が経過して以降、継続的に様々な警察活動を行う一般部隊を創設し、両部隊からなる「警察災害派遣隊」が設置された。



3 兵庫県警察の主な災害警備

(1) 災害警備実施回数

県内で気象警報が発表された場合や、地震が観測された場合のほか、県外で大規模な被害が発生し、又は発生のおそれがある場合等に、災害警備本部等を設置して、災害警備体制を確立している。



【近年の災害警備実施回数】

(2) 近年の主な災害警備

ア 平成30年7月豪雨

平成30年6月28日以降、西日本を中心に広い範囲で記録的な大雨となり、県下においても、大雨特別警報が発表され、土砂崩れや倒木等により、死者2人、重軽傷者11人等の被害が発生した。



【土砂災害現場での活動状況（宍粟市）】

警察本部及び全警察署に災害警備本部を設置し、指揮体制を確立した上で、救出救助活動、行方不明者の捜索活動などの災害警備を実施した。

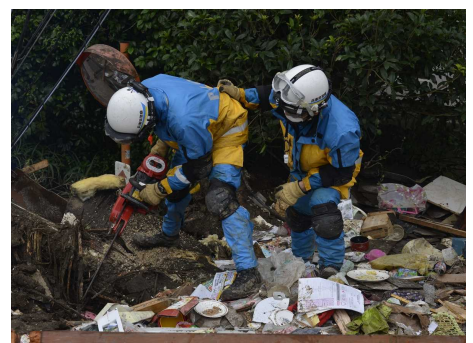
イ 令和2年7月豪雨

令和2年7月3日以降、国内の広い範囲で記録的な大雨となり、県下においても、断続的に警報が発表された。

警察本部及び関係警察署に災害警備対策室を設置し、指揮体制を確立した上で、110番通報への対応、交通規制などの災害警備を実施した。

ウ 県外における災害警備

平成28年熊本地震、令和2年7月豪雨により、熊本県に広域緊急援助隊等を派遣し、救出救助活動、行方不明者の捜索活動、被災地パトロール等を実施した。



【被災地域での捜索状況（静岡県熱海市）】

令和3年7月静岡県熱海市で発生した土石流災害により、広域緊急援助隊を派遣し、行方不明者の捜索活動等を実施した。

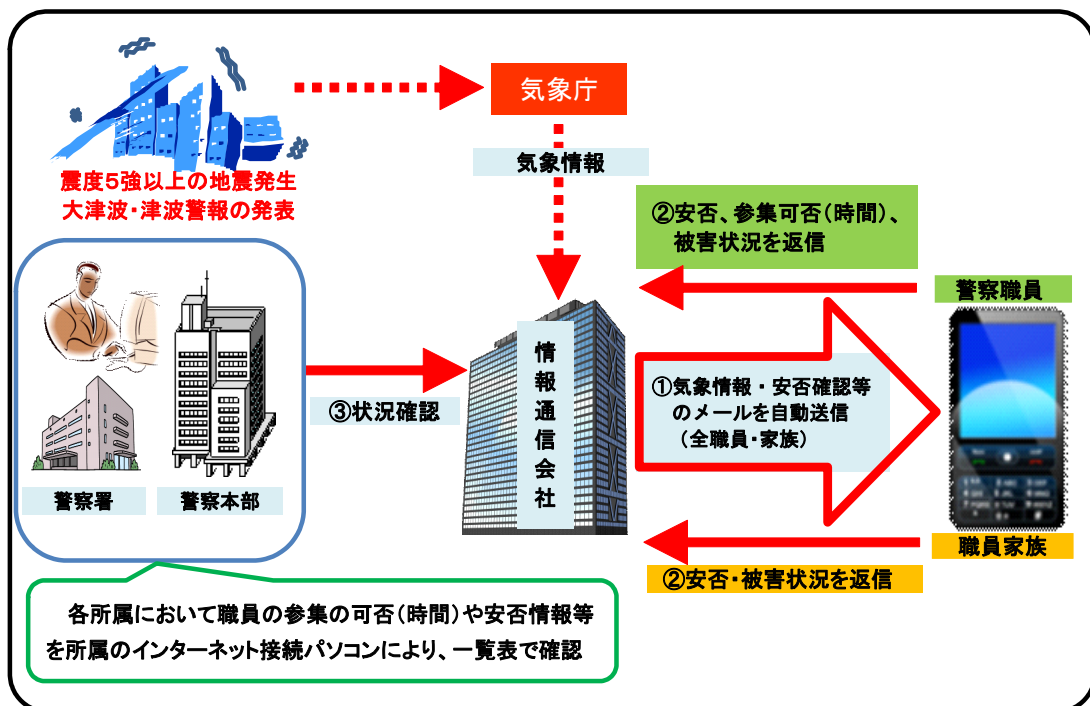
4 災害警備諸対策の推進

(1) 初動体制の早期確立

ア 兵庫県警察災害時職員緊急参集システムの運用

県内において一定規模の地震が観測された場合等に、予めシステムに登録している職員に対して、安否情報や参集の可否等の回答を求めるメールを自動送信し、職員が返信することで、所属での情報集約が可能となるシステムを運用し、迅速かつ的確な災害警備体制の確立を図っている。

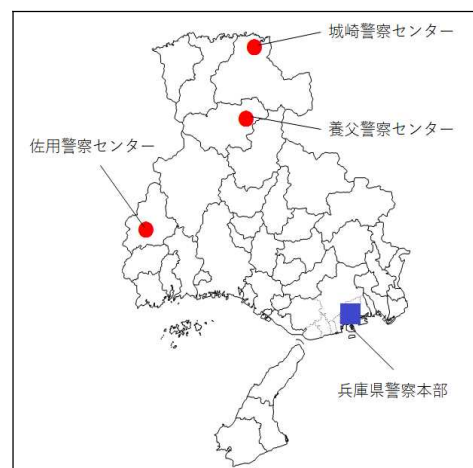
また、登録している家族に対しても、メールを自動送信し、安否情報等を確認している。



【兵庫県警察災害時職員緊急参集システム (イメージ図)】

イ 被災地警察署への支援

大規模災害発生時に被災地警察署の指揮機能や初期対応の支援を行うため、指揮支援隊や災害地域支援チームを設置し、部隊の前進待機等を可能とする災害対策拠点を新設したほか、気象情報から被害の発生が予想される地域には機動隊等を先制的に前進配置するなど、支援体制を強化している。



【災害対策拠点の設置場所】

(2) 災害対処能力の向上

ア 災害警備訓練の実施

(7) 兵庫県警察総合災害警備訓練

南海トラフ地震等の大規模災害の発生に備え、広域緊急援助隊や第二機動隊等の救出救助技能の向上、各部隊間の連携強化等を目的とした県警主催の総合災害警備訓練を平成28年度から実施している。



【土砂災害現場からの救出救助訓練】

(4) DR (Disaster Remember) 戦略訓練

過去に大きな水害等が発生した地域を中心に、関係機関や地域住民等と連携した合同訓練を実施することにより、災害の風化を防止するとともに、県民に対して防災意識の醸成や災害警備活動への協力等の確保を目的とした「DR戦略訓練」を平成30年度から実施している。令和4年度からは、訓練場所を県下全域に拡大するとともに、訓練項目も拡充して推進している。



【ヘリによるホイスト救助訓練】

(ウ) 兵庫県合同防災訓練

関係機関・団体、自主防災組織等が相互に連携し、官民一体となった実戦的訓練を実施することにより、防災意識の更なる高揚を促し、地域防災力の向上に資することを目的とした兵庫県主催の地域合同防災訓練に毎年参加している。



【車両からの救出救助訓練】

イ 兵庫県警察フェニックスレスキュー競技大会の開催

南海トラフ地震等の大規模災害が発生した際、被災現場で救出救助に当たる警察署警察官の災害対処能力の底上げを図るため、ジャッキ、エンジンカッター等警察署に配備されている災害用装備資機材を活用した救出救助に関する技能を警察署対抗で競う「兵庫県警察フェニックスレスキュー競技大会」を平成30年度から開催している。

同大会は県民に広く公開することで、県民の災害警備活動に対する理解の確保と県民の防災意識の高揚を促している。



【第5回競技大会の状況】

(※令和4年度の大会は、コロナ感染防止のため無観客開催)

ウ 巡回指導等による技術指導

平成31年3月、災害対策課に、災害警備に係る救出救助技能を指導する係を設置し、警察署への巡回指導や警察学校生に対する訓練指導、教養資料の発出など、警察職員全般の災害対処能力の底上げを図っている。



【女性警察官の訓練状況】

(3) 装備資機材の整備等

ア 災害用装備資機材の拡充・整備

阪神・淡路大震災以降、全警察署にチェーンソー、エンジンカッター、エアージャッキ等を、全交番・駐在所にレスキューユニットを配備した。

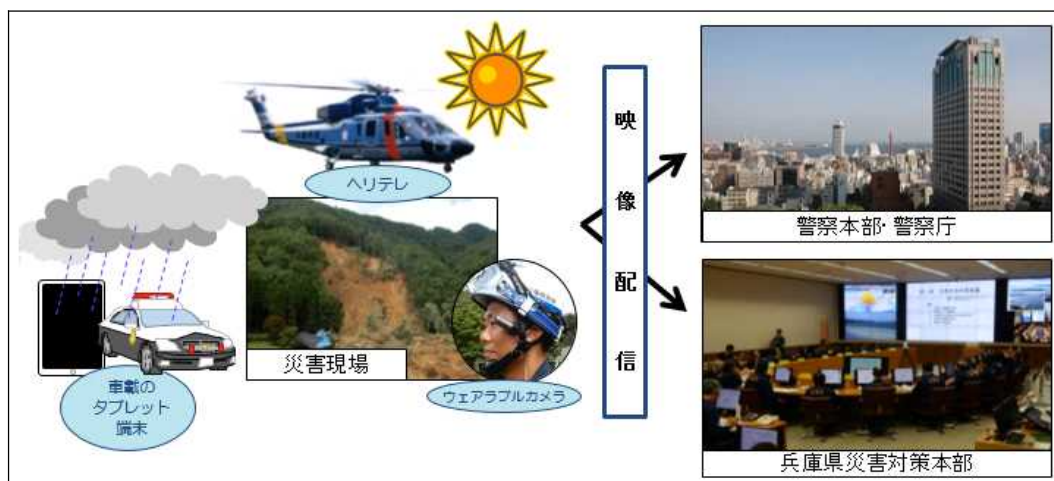
平成30年度からは、取り扱いや運搬が容易で多機能な「災害用救助工具セット」も警察署等に配備した。



【災害用救助工具セット】

イ 映像情報配信機能の強化

平成29年度に、「総合的画像情報伝送システム（ヘリテレシステム）」をアナログ式からデジタル式に更新したほか、令和元年度に、ウェアラブルカメラ、パトカー車載のタブレット端末等で撮影した映像を兵庫県警察本部のほか、警察庁及び兵庫県災害対策本部にも配信することを可能とする回線を整備した。



【映像情報配信機能の強化（イメージ図）】

5 民間との連携・協力体制の構築

「兵庫県警察災害時等警察活動協力員」、「災害モニター」及び「兵庫県警察防災学生ボランティア」を委嘱し、警察活動を支援する体制を確立している。

また、民間の事業者等と装備資機材の供出等の業務支援について協定を締結し、災害時における協力体制を構築している。



【兵庫県警察防災学生ボランティアの活動】

6 伝承教養

阪神・淡路大震災の災害警備を経験していない警察職員が7割を超え、災害警備に関する伝承は、県警察の課題となっていることから、「語り部制度」を設けて、阪神・淡路大震災のほか、東日本大震災での災害警備体験等を併せて警察署等において伝承教養を実施している。



【警察学校における伝承教養】

7 情報発信

ホームページやツイッター等SNSを活用し、災害警備や各種訓練等の取組状況について紹介するとともに、大学等において講演を実施するなど、県民の防災意識の高揚を促している。



【県警ホームページの災害対策に関するページ】



【大学における講演】



【県警SNSの災害対策に関する投稿】